

令和5年度 自己評価書

学校名

北海道苫小牧東高等学校

1 本年度の重点目標

- 1 わかる授業を推進し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る
- 2 教育相談活動の充実を図り、生徒理解に立った生徒指導を実践する

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	学習指導要領及び医進類型に対応した教育課程の編成・整備を行う。	B	B	観点別学習状況の評価やその評価方法について、より明確な記載方法の工夫・改善する。
		シラバス（学習の手引）を作成し、生徒の目的意識の明確化を図る。	A	A	
	各教科等の授業の状況	主体的・協働的な学習態度の育成を図り、社会で役立つ学力の向上に努める。	B	B	教科横断的な学習活動及び総合的な探究の時間・LHR・行事を効果的に組み合わせ、生徒の多面的な成長を促す。
		年間計画に基づき、総合的な探究の時間・LHR・行事を組織的、効果的に実施する。	B	B	
生徒指導	生徒指導の状況	生徒の自主性・自律性を養い、社会生活におけるルールやマナーを守る態度を育成する。	B	B	生徒の自己指導能力育成を育むために、生徒自身の気づきや改善を根気強く促す。
		地域・保護者・関係機関との連携を強化し、問題行動の予防、早期発見、早期対応に努める。	A	A	
	主体的な活動及び支援体制の状況	主体的なホームルーム活動及び生徒会活動を推進し、生徒の主体性と協働性を育む。	B	B	HR担任、部活動顧問、生徒指導部、教育相談委員会、スクールカウンセラー等が日常的に生徒の情報を共有し、適切に対応できる体制を整える。
		個人面談及び教育相談の機会を確保し、生徒の自立や望ましい人間関係の構築を支援する。	A	A	
		生徒の些細な変化や悩みに気を留め、学校いじめ防止基本方針に則り、組織的に対応する。	A	A	
進路指導	進路指導の状況	学年・教科・分掌の連携を密にし、組織的・系統的な進路指導体制の確立に努める。	B	B	学年の業務と分掌の業務を整理し、効率よく組織的に対応できる体制を整える。
		外部の説明会に積極的に参加するなど、情報収集とその活用に努める。	B	B	
	生徒の進路実現のための指導の状況	年間計画に基づき、課外講習、模擬試験、面接指導、小論文指導を実施する。	A	A	生徒の自主性の伸長と両立した進路指導体制について、教員間の目線合わせを行う。
	出願時の指導を含む、合否結果に基づいた進路指導の評価及び改善点を職員全体で共有す	B	B		
健康・安全指導	保健・安全指導の状況	体育活動へ積極的に参加させ、心身の健康を促進するとともに、その大切さを感得させる。	A	B	学校の新しい生活様式に則った学校生活を定着させるとともに、生徒会の主体的な取組を支援する。
		学校保健委員会の活性化と保健便りの活用などにより、生徒の健康・安全意識を向上させる。	B	B	

次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導について、ICTの活用を一層図るなど、生徒の主体的・協働的な学びをさらに推進する。
- 2 生徒指導について、地域・保護者・関係機関と連携を密にし、問題行動の予防、早期発見、早期対応に努める。
- 3 進路指導について、生徒の自主的な学習態度の育成を意識した、課外講習等の適切な在り方を検討する。
- 4 教員の働き方改革を推進し、教員が健康で、意欲的に教育活動に専念できる環境を整える。